

## 高浜再稼働ノー全国集会



再稼働反対のシュプレヒコールを上げる参加者ら＝5日、福井市



再稼働反対のシュプレヒコールを上げる参加者ら＝5日、福井市

# 本気で止める

「高浜原発3、4号機の再稼働を本気で止める！全国集会」が5日、立地県である福井県の福井市西公園で開かれ、県内外から約1200人が参加しました。「原発再稼働ストップ」のプラカードを一言に掲げ、パレードでアピールしました。

### 福井1200人

関西電力の高浜3、4号機は再稼働の地元同意手続きに入っており、野瀬豊高浜町長が同意表明(3日)したのに続き、西川一誠知事が12月県議会や県の専門委員会などの議論をふまえて判断を行う構えです。司法では、高浜3、4号機の再稼働差し止め仮処分決定(福井地裁)に対する異議審が終結し、裁判所が判断を示す段階となっています。

同集会には、さよなら原発1000万人署名アクション、首都圏反原発連合、原発をなくす全国連絡会、再稼働阻止全国ネットワークの4団体が協賛。1000万人署名アクションの賛同人で講師の神田香織さんが司会を務め、福島県出身者として「ふもとを命がけで守ってきた。この国で福島を悲劇を味わってほしくない」と訴えました。

リーダーら  
沖縄県名護市辺野古の米軍新基地建設に反対する県民らの座り込みが続けられている米軍キャンプ・シユワフ

のゲート前で5日、機動隊が、座り込みを排除しようとして、座り込みの指揮をとっていた沖縄県統一連の事務局長と男性の身柄を不当に拘束し、逮捕しました。

日本共産党の赤嶺政賢衆院議員と社民党の照屋寛徳衆院議員が名護署で接見。名護署前には県民ら約1000人が駆け付け、不当逮捕に抗議しました。

## 新基地反対不当に逮捕

「表現の自由が脅かされている」と、特定秘密保護法の廃止を訴える土井由三氏(右から2人目) 県庁で



内では会見し、元小杉町長の土井由三氏(右)は「秘密保護法は一日で完全施行になり、表現の自由が脅かされる心配がある。市民活動をする側もとがめられる恐れがあり、断固として反対だ。戦争法と一体で廃止に持ち込みたい」と訴えた。

同保護法の施行から一年を迎えるのに合わせ、市民団体などでつくる「戦争する国」づくり反対共同行動実行委員会が主催。集会は「戦争法廃止！富山県民集会」と題して、廃止を求めるリレートークや、駅周辺をデモ行進し、市民に賛同を呼び掛ける。同実行委では、集会への参加を募っている。目標人数は四百人。集会は、十日午後六時半から富山市のCIC前広場で開催する。

8(水)・早朝街宣(8の日行動)

・128高岡集会  
高岡商エビル10F PM6時15分  
講演・講師 石川多加子(金沢大学 准教授)

10(木) 戦争法廃止集会・デモ  
PM6時30分 CIC前